

第3回 炎症・生体防御研究セミナー

開催日時

平成29年2月23日(木) 17:00~18:30

開催場所

日亜ホールWhite (新外来病棟5階)

※ローソン横エレベーターで5階へお上がりください

1. トランスポーターによる生活習慣病関連物質輸送と病態 ～脂溶性ビタミンと尿酸について～

高田 龍平 博士 (東京大学医学部附属病院 薬剤部 講師/第一副部長)

[近年の主要論文] *Frontiers in Pharmacology*. (2016) 7, 518.
Science Translational Medicine. (2015) 7, 275ra23.
Nature Communications. (2012) 3, 764.
Molecular Pharmacology. (2008) 74, 42.

2. 尿酸トランスポーター遺伝子の解析から分かってきた 痛風・高尿酸血症研究の新展開 ～ゲノム個別化医療・予防に向けて～

松尾 洋孝 博士 (防衛医科大学校 分子生体制御学講座 講師)

[近年の主要論文] *Annals of the Rheumatic Diseases*. (2016) epub ahead of print.
Annals of the Rheumatic Diseases. (2016) 75, 652.
Scientific Reports. (2014) 4, 5227.
Science Translational Medicine. (2009) 1, 5ra11.

本セミナーでは、炎症・生体防御応答に関連する分野において最先端の研究を行っている研究者に、近年の成果をお話しいただきます。第3回となる今回は、栄養・代謝成分の量的制御について、素晴らしい業績を上げている高田博士と松尾博士にご講演をお願いしました。主にトランスポーターの観点から、生活習慣病・代謝疾患の発症機序や治療薬の作用機序について、最新の知見をお話しいただきます。栄養・代謝成分の過度の蓄積は炎症の引き金となることが明らかになってきており、炎症生物学分野でも栄養・代謝成分の量的制御に注目しています。本セミナーへの皆様のご参加をお待ちしております。他部局の方のご参加も歓迎いたします。

- 本セミナーは、共同利用・共同研究「酵素学研究拠点」のサポートにより行われます。
- 本セミナーは、大学院特別講義を兼ねています。臨床データを基にした、ハイレベルな基礎研究に触れることができるよい機会ですので、ぜひご来聴ください。

連絡先

先端酵素学研究所 炎症生物学分野
齊藤 達哉 (内線2540)